



千葉労働動力

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043 (222) 7207 番

92.9.8 No. 3653

12月「ダイヤ改」で 労働条件の改善をはかろう

折り返し時間問題で、「段下げ交代」をかちとる!

「動労千葉申第二五号」による「九二・三ダイヤ改」以降の問題点については、この間各支部の具体的な問題について四回にわたって交渉を行ってきた。今回は、残された基本的な事項について、八月三十一日に団体交渉を行った。

交渉の冒頭会社側から、この間各支部から出された「折り返し時間」のない「行路」の改善について、次の内容の提案が行われた。

館山運転区、B二一、二四、千葉運転区、B五八、63、65、161、163の各行路について、九月一日から「段下げ交代」を実施する。

合図は前頭で行わなくても問題はない

上総一宮での分併作業が、今次「ダイヤ改」から駅側で行っていた入換合図を検修要員で行うことが強行された。

列車を分割する場合、検修要員が中間で分割作業を行った後、その場で合図を行わなければならない。

すると運転士は、後向きで合図を見ながら前に移動しなければならなくなる。運転取扱いでは、添乗誘導が基本となっており、前方

で合図を行わなければならないことになっている。また、運転士は前方注視の義務があり、合図が見えなくなった直ちに列車を止めなければならない。

上総一宮駅は、下り方が踏み切りになっており、安全上から言っても問題があるにもかかわらず、会社側は「なんら問題はない」と聞き直り、規定違反を平然と行っているのである。

一方では、乗務員に対して「決

閉そく区間が長く、問題があると認識
折り返し時分を次期ダイヤ改で見直す

制限を受ける列車は
実態に合った運転時分を

組合 制限が設けられている線路に進入する場合、運転時分を延ばしてあるのか?

会社 一部箇所について、この間見直したが、全体については把握していない。調査する。

組合 久住、成田間について第一閉

第一九回定期大会
一、日時 一〇月三日(土) 一三時から
四日(日) 一二時まで
二、場所 国民宿舎「のさか望洋荘」
全力で結集しよう!

「一二月「ダイヤ改」を
全力で闘いぬこう」

められたことは守らなくてはならない」と言って処分を行い、「夏季手当」「昇給」カットを強行しているのである。
あごヒモの強要については、八月一日から「かけなくても良い」としたら、全乗務員が一斉にかけなくなったことなどは、いかに会社がこの間無駄なことを強制していたのが立証されたということである。
本部は、この間「九二・三ダイヤ改」の強行実施の問題点について、各支部から集約し、「動労千葉申第二五号」によって五回にわたり交渉を行ってきたが、基本的には未解決となっており、次期「ダイヤ改」(一二月三日)に向けて全力で闘いぬかなければならない。

八月三十一日の
団交より(要旨)

そく信号機が「成田エクスプレス」の関係で注意信号となっており、常時遅れが発生している。
組合 千葉運転区B一七二仕業については、①幕張電車区まで便乗となっているが、到着してから出区担当までの時間が長い、②津田沼駅に出区してからの折返し時間が五分一五秒(一五両)となっており無理がある。

会社 閉そく区間が長く、問題があると認識している。現在検討している。

千葉転、B一七二仕業は
次期「ダイヤ改」で見直す
会社 次期「ダイヤ改」で見直しを行う。